

「学びの文脈」を 子どもと共に創る授業

盛岡市立仁王小学校

令和7年度 学校公開研究会 中間発表

151年目の仁王小学校

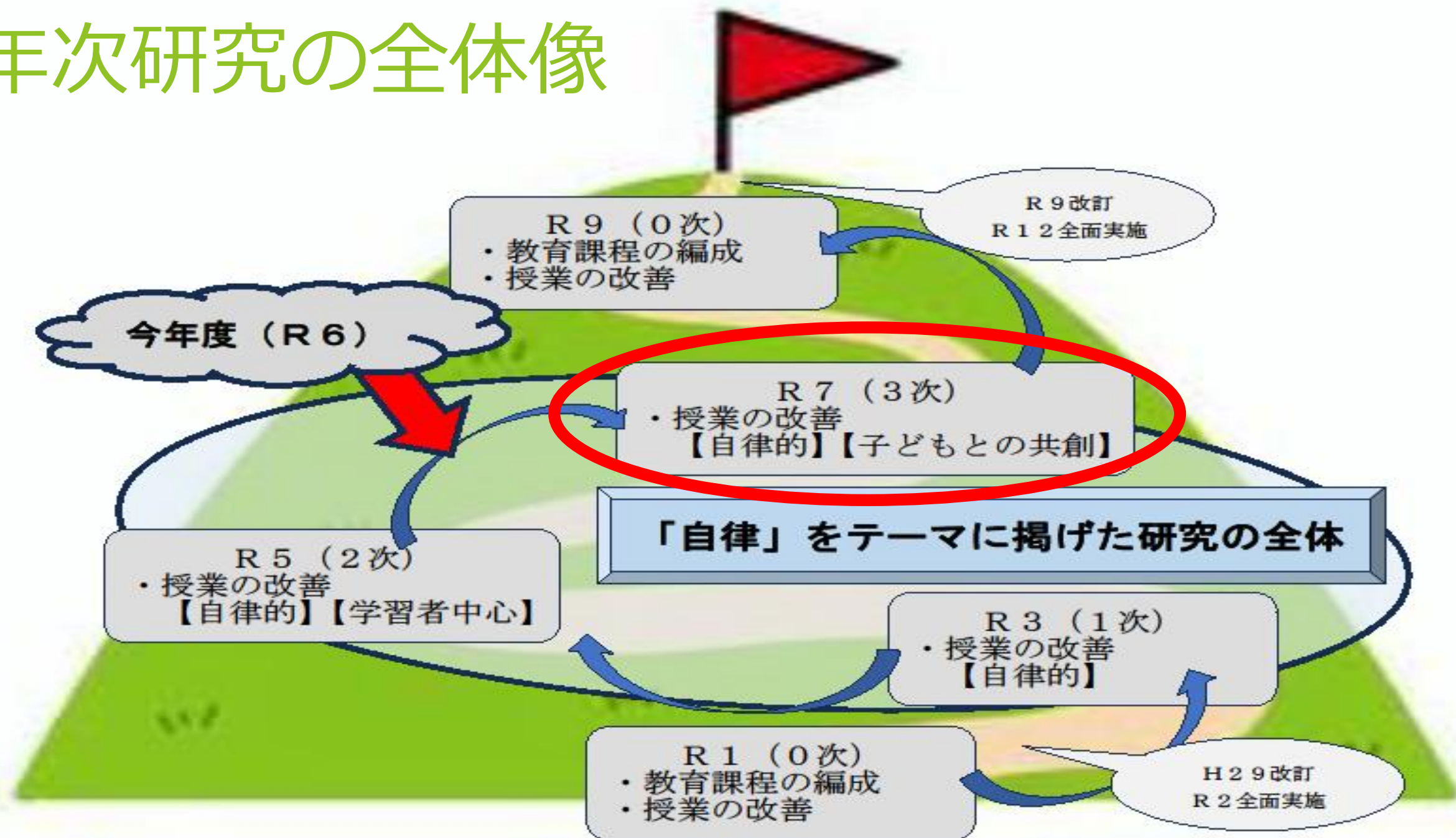


研究主題

授業の改善

— 自律的に学ぶ子どもが育つ授業 —
(第3次)

年次研究の全体像



「めざす教育人間像」と「学校教育目標」

＜めざす教育人間像＞

主体的実践人

予測困難な時代の中でも、主体的に考え判断し、多様な他者と協働しながらよりよい社会や人生を創るために行動する人

知性的な人

広い視野から正しい物事をとらえ、他者と協働して、よりよく問題を解決しようとする人

人間性の豊かな人

人を思いやる心や感動する心を持ち、多様な他者とともによりよい生活を築いていく人

健康でねばりのある人

心や体の健康と体力を大切に、心身ともにたくましく生きる人

＜学校教育目標＞

すすんでやりぬく仁王の子

よりよい自分（価値あるもの）をめざして、すすんで物事に取り組み、最後までやり抜くことができる子ども

かんがえる子

自ら課題を見つけ、他者と協働しながら、よりよく問題を解決しようとする子ども

おもいやりのある子

豊かな心を持ち、他者とすすんでかわりながら、よりよく生活しようとする子ども

たくましい子

心も体も健康でたくましく、めあてに向かってねばり強くがんばる子ども

1 2の目指す子どもの具体の姿

	すすんでやりぬく仁王の子		
	かんがえる子	おもいやりのある子	たくましい子
知識及び技能	ア 知識・技能を身に付け、活かす	ア 生命を尊重する	ア 健康で安全な暮らしを送る
思考力、判断力、表現力等	イ 多面的に、筋道立てて考え、表現する	イ 自律的に判断し、行動する	イ 防災や復興のために行動する
学びに向かう力、人間性等	ウ 協働的に学び、価値を深める	ウ 他者と協調し、生活の充実を図る	ウ 体力づくりに継続して取り組む
	エ 学びを振り返り、次を見通す	エ 美しいものや気高いものに感動する	エ ねばり強く最後までやりぬく

9つの目指す子どもの具体の姿

自律的に学ぶ子ども



	すすんでやりぬく仁王の子（自律的に学ぶ子ども）		
	かんがえる子	おもいやりのある子	たくましい子
知識及び技能	ア 問題を解決する知識・技能を身に付ける	ア かけがえのない命を大切にした生活を送る	ア 心も体も健康で安全な生活を送る
思考力、判断力、表現力等	イ 多面的に、筋道立てて考え、表現する	イ 相手の立場に立って判断し、行動する	イ 防災・復興について考え、行動する
学びに向かう力、人間性等	ウ 自ら問題を見つけ、協働的に学び、よりよい考えを求める	ウ よりよい集団生活に向けて、他者と協調する	ウ めあてに向かって調整し、ねばり強く最後までやりぬく

自律的に学ぶ子どもとは・ ・ ・

よりよいもの（考え）を求め、自分の意志で目標（課題）を設定し、その目標の達成（課題の解決）に向けて、他と協働しつつ、学びを調整しながらねばり強く取り組む子ども

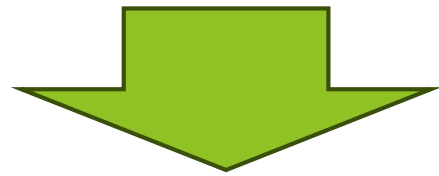
自律的に学ぶ子どもとは・

- ①よりよいもの（考え）を求め、
- ②自分の意志で目標（課題）を設定し、その目標の達成（課題の解決）に向けて、
- ③他と協働しつつ、
- ④学びを調整しながらねばり強く取り組む子ども

「学びの文脈」を子ども と共に創る授業

学びの文脈とは・・・

幼少期から連綿と続いてきた連続し
た学びの連なり



“教えたいこと”が“学びたいこと”へ

手立て①

単元（題材）全体の学びの見える化

Let's climb
the learning
mountain
レッツ クライム ザ
ラーニング マウンテン
学びの山に登ろう！

単元名【大地のつくりと変化】全（15）時間

単元を通しての学習問題（みんなで解決したい問い）

大地はどのようにでき、なぜ変化しているのだろうか。

学びの
プラン

分かること・できること

- ①土地は、何からできているのか、どのようなものが含まれているのかが分かる。
- ②地層は、何によってできているのか分かる。
- ③土地は、何によって変化するのか分かる。
- ④観察、実験の目的に応じて、器具や資料を選び、正しく扱うことができる。
- ⑤観察、実験で分かった結果を記録することができる。

考えること・表すこと

- ⑥自分（たち）で問題を見つけ、予想しながら、解決するための方法を考えている。
- ⑦観察、実験などから、問題に対して、より妥当な考えをつくりだしている。

工夫して学ぼうとすること

- ⑧大地のつくりと変化について、進んで関わり、ねばり強く、仲間と関わりながら問題を解決しようとしている。
- ⑨大地のつくりと変化について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

第3ステージ（2）時間

大地の様子は、どのようにへんかするのだろうか。
・大地は何によって変化するのか資料から調べる。
・調べてことを交流し、大地の変化についてまとめる。

たしかめ
③プリント
⑧発言・ノート

第1ステージ（4）時間

がけがしま模様に見えるのは、どうしてだろうか。
・大地のつくりについて解決したい問題をつくり、解決の見通しとゴールのイメージをもつ。
・様々な資料を使い、がけのしま模様をつくっているものを調べる。
・がけがしま模様に見える理由を考え、地層についてまとめる。

たしかめ
①プリント
⑤ノート
⑦発表・ノート
⑧発言・活動

第4ステージ（4）時間

大地の変化による災害から生命を守るためにできることは何だろうか。
・災害や、災害に対する備えについて、調べたり、考えたりする。
・生命を守るためにできることを考え、まとめる。

たしかめ
⑧発言・ノート
⑨発言・ノート

第2ステージ（5）時間

地層は、どのようにしてできるのだろうか。
・地層のでき方を予想し、実験をして調べる。
・地層のでき方について考え、まとめる。
・大地のつくりについてまとめる。

たしかめ
①プリント
②プリント
④実験の様子
⑥発表・ノート
⑦発表・ノート

■この単元に関わってこれまでに知っていること・できること（前の学年や前の単元までに）

- 流れる水のはたらきと土地の変化（5年）
- ・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したりたい積させたりするはたらきがあること。
 - ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形にちがいがあること。
 - ・雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があること。

○雨水のゆくえと地面の様子（4年）

- ・水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること。
- ・水のしみこみ方は、土の粒の大きさによってちがいがあること。

手立て①

単元（題材）全体の学びの見える化

①この単元・題材で身に付けるべき資質能力は何か。

②ゴールまでのどのくらいの時間がかかるのか。

③余白をもたせて単元がデザインできているか。

Let's climb
the learning
mountain
レッツ クライム サ
ラーニング マウンテン
学びの山に登ろう！

単元名【大地のつくりと変化】全（15）時間

単元を通しての学習問題（みんなで解決したい問い）

大地はどのようにでき、なぜ変化しているのだろうか。

学びの
プラン

分かること・できること

- ①土地は、何からできているのか、どのようなものが含まれているのか分かる。
- ②地層は、何によってできるのか分かる。
- ③土地は、何によって変化するのか分かる。
- ④観察、実験の目的に応じて、器具や資料を選び、正しく扱うことができる。
- ⑤観察、実験で分かった結果を記録することができる。

考えること・表すこと

- ⑥自分（たち）で問題を見つけ、予想しながら、解決するための方法を考えている。
- ⑦観察、実験などから、問題に対して、より妥当な考えをつくりだしている。

工夫して学ぼうとすること

- ⑧大地のつくりと変化について、進んで関わり、ねばり強く、仲間と関わりながら問題を解決しようとしている。
- ⑨大地のつくりと変化について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

第3ステージ（2）時間

大地の様子は、どのようにへんかするのだろうか。
・大地は何によって変化するのが資料から調べる。
・調べてことを交流し、大地の変化についてまとめる。

たしかめ
③プリント
⑧発言・ノート

第1ステージ（4）時間

がけがしま模様に見えるのは、どうしてだろうか。
・大地のつくりについて解決したい問題をつくり、解決の見通しとゴールのイメージをもつ。
・様々な資料を使い、がけのしま模様をつくっているものを調べる。
・がけがしま模様に見える理由を考え、地層についてまとめる。

たしかめ
①プリント
⑤ノート
⑦発表・ノート
⑧発言・活動

第4ステージ（4）時間

大地の変化による災害から生命を守るためにできることは何だろうか。
・災害や、災害に対する備えについて、調べたり、考えたりする。
・生命を守るためにできることを考え、まとめる。

たしかめ
⑧発言・ノート
⑨発言・ノート

第2ステージ（5）時間

地層は、どのようにしてできるのだろうか。
・地層のでき方を予想し、実験をして調べる。
・地層のでき方について考え、まとめる。
・大地のつくりについてまとめる。

たしかめ
①プリント
②プリント
④実験の様子
⑥発表・ノート
⑦発表・ノート

■この単元に関わってこれまでに知っていること・できること（前の学年や前の単元までに）

- 流れる水のはたらきと土地の変化（5年）
- ・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したりたい積させたりするはたらきがあること。
 - ・川の上流と下流によって、川床の石の大きさや形にちがいがあること。
 - ・雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する可能性があること。

○雨水のゆくえと地面の様子（4年）

- ・水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること。
- ・水のしみこみ方は、土の粒の大きさによってちがいがあること。

子どもに情報を開示し、楽しいストーリーを描く

手立て①

単元（題材）全体の学びの見える化

- ・教えることをしっかり教える時間
- ・身に付けた力を活用できる時間
- ・内容や時間のまとまりを意識した単元の工夫
- ・ゴールは更新される場合もある

Let's climb
the learning
mountain
レッツ クライム サ
ラーニング マウンテン
学びの山に登ろう！

単元名【大地のつくりと変化】全（15）時間
単元を通しての学習問題（みんなで解決したい問い）

学びの
プラン

大地はどのようにでき、なぜ変化しているのだろうか。

分ること・できること

- ①土地は、何からできているのか、どのようなものが含まれているのか分かる。
- ②地層は、何によってできているのか分かる。
- ③土地は、何によって変化しているのか分かる。
- ④観察、実験の目的に応じて、器具や資料を選び、正しく扱うことができる。
- ⑤観察、実験で分かった結果を記録することができる。

考えること・表すこと

- ⑥自分（たち）で問題を見つけ、予想しながら、解決するための方法を考えている。
- ⑦観察、実験などから、問題に対して、より妥当な考えをつくりだしている。

工夫して学ぼうとすること

- ⑧大地のつくりと変化について、進んで関わり、ねばり強く、仲間と関わりながら問題を解決しようとしている。
- ⑨大地のつくりと変化について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

第3ステージ（2）時間

- 大地の様子は、どのようにへんかするのだろうか。
- ・大地は何によって変化するのが資料から調べる。
 - ・調べてことを交流し、大地の変化についてまとめる。

たしかめ
③プリント
⑧発言・ノート

第1ステージ（4）時間

- がけがしま模様に見えるのは、どうしてだろうか。
- ・大地のつくりについて解決したい問題をつくり、解決の見通しとゴールのイメージをもつ。
 - ・様々な資料を使い、がけのしま模様をつくっているものを調べる。
 - ・がけがしま模様に見える理由を考え、地層についてまとめる。

たしかめ
①プリント
⑤ノート
⑦発表・ノート
⑧発言・活動

第4ステージ（4）時間

- 大地の変化による災害から生命を守るためにできることは何だろうか。
- ・災害や、災害に対する備えについて、調べたり、考えたりする。
 - ・生命を守るためにできることを考え、まとめる。

たしかめ
⑧発言・ノート
⑨発言・ノート

第2ステージ（5）時間

- 地層は、どのようにしてできるのだろうか。
- ・地層のでき方を予想し、実験をして調べる。
 - ・地層のでき方について考え、まとめる。
 - ・大地のつくりについてまとめる。

たしかめ
①プリント
②プリント
④実験の様子
⑥発表・ノート
⑦発表・ノート

■この単元に関わってこれまでに知っていること・できること（前の学年や前の単元までに）

- 流れる水のはたらきと土地の変化（5年）
- ・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したりたい積させたりするはたらきがあること。
 - ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形にちがいがあること。
 - ・雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する可能性があること。

○雨水のゆくえと地面の様子（4年）

- ・水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること。
- ・水のしみこみ方は、土の粒の大きさによってちがいがあること。

手立て②

自己調整力を高める「見通し」と「振り返り」

【自己調整力とは】

自らの学習や行動を振り返り、改善策を考え、実行すること

手立て②

自己調整力を高める「見通し」と「振り返り」

【自己調整力とは】

- ①「自己認識」・・・自分の強みや弱みを理解し、自己改善ができるかを考える能力
- ②「目標設定」・・・明確な目標を設定し、それに向かって計画を立てる能力
- ③「自己監視」・・・自分の進捗を確認し、達成度を評価する能力
- ④「自己評価」・・・結果に基づいて自分の行動を評価する能力
- ⑤「柔軟性」・・・状況に応じて計画を変更する能力

手立て②

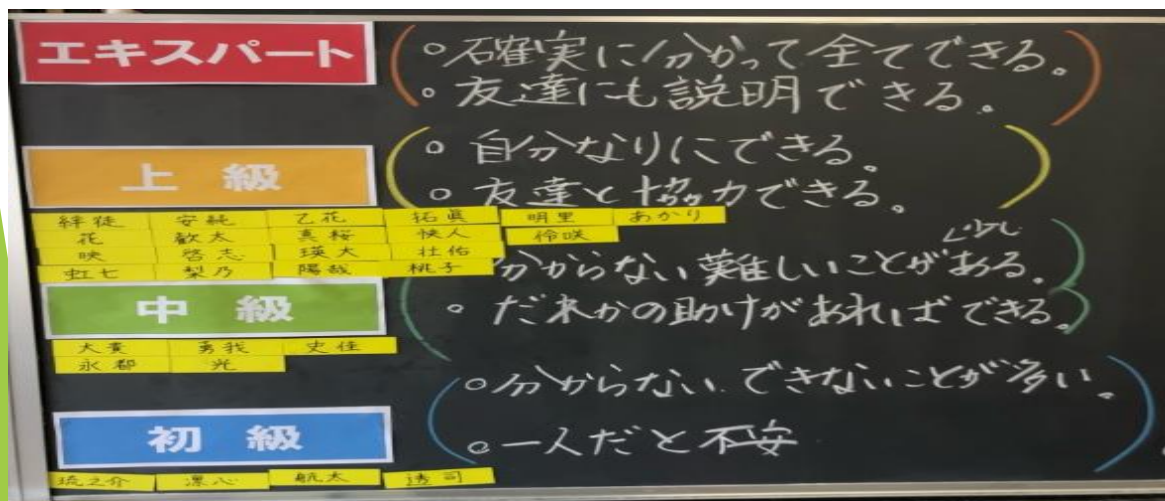
自己調整力を高める「見通し」と「振り返り」

【見通し】

- どのようなことを
- どのような方法で解決
- どのようなゴールになりそうなのか

【振り返り】

- 学び方で工夫したこと
- 不十分だったこと
- 成長したこと
- どのくらいまで進んでいるのか



自己評価と
客観的評価

手立て③

思考力・判断力・表現力等を磨く 「つなぐ」「えらぶ」「つかう」の循環

- 「つなぐ」・・・教科等の特性に応じた多様な思考や教科の見方・考え方と活動をつないだり、自分と友達
の考えをつないで思考したりすること。
- 「えらぶ」・・・いくつかある選択肢の中から、自分自身の考
えをもとに、よりよいものを判断し、選択す
ること。
- 「つかう」・・・「つなぐ」「えらぶ」の外言や体現、総じて
表現すること。

手立て③

思考力・判断力・表現力等を磨く 「つなぐ」「えらぶ」「つかう」の循環

「つなぐ」	．．．	主に思考力
「えらぶ」	．．．	主に判断力
「つかう」	．．．	主に表現力

主体は子どもたち

知識・技能
場面でも適応

手立て③

思考力・判断力・表現力等を磨く 「つなぐ」「えらぶ」「つかう」の循環

☆ポイント☆



- 子どもに委ねる時間を設定する。
- 知識・技能を活用する学習活動を位置づける。

自律的に学ぶ子ども

